



新生銀行本体での 「レイク」ブランドによる カードローンサービスの開始について

～健全な個人向け無担保ローン市場の形成に貢献～

株式会社新生銀行

2011年6月22日

1. 「新生銀行カードローン レイク」…………… 3

2. 「新生銀行カードローン レイク」の概要…………… 4

3. 「新生銀行カードローン レイク」の事業環境 …… 5

4. 「新生銀行カードローン レイク」のスキーム…………… 6

5. 「新生銀行カードローン レイク」の意義…………… 7

6. 「新生銀行カードローン レイク」の差別化と事業展開…………… 8

(参考) 「新生銀行カードローン レイク」商品概要(予定)…………… 9

■ 戦略的視点

- 新生銀行にとって個人向けビジネスは極めて重要な業務分野。これまでも革新的サービスで成功してきたが、今後も一層力を入れていく、将来性のある分野
- 新サービス開始後は、銀行本体として、リテールバンキングからコンシューマーファイナンスまでのフルラインの個人向けサービスを提供するのは当行のみ。本件は当行の個人向けビジネスの強みを一層活かす方策
- これにより、当行の競争力は今後一層強まるものと考ええる

■ 「新生銀行カードローン レイク」のポイント

- 邦銀初の、全国的な無人店舗ネットワーク(約800)を利用した個人向け無担保ローンの提供
 - ✓ 銀行本体での本格的な個人向け無担保ローンの開始(2011年10月1日より)
- 100%子会社である新生フィナンシャル(레이크)が培ってきた強みを活用
 - ✓ ブランド力・認知度(業界1位の申込シェア)
 - ✓ マーケティングノウハウ(効率的チャネル)
 - ✓ 個人ローン業務分野における高い審査能力(慎重な成約率と低い延滞率)
- 銀行が持つ信頼性や安心感を融合し、潜在的な無担保ローン利用者のニーズを幅広く発掘
- 市場の拡大と共に、当行の収益力を強化
- 健全な個人向け無担保ローン市場の形成に貢献

「新生銀行カードローン レイク」の概要

銀行本体での取り組みにより、健全な個人向け無担保ローン市場の形成に貢献



環境認識： 規制環境が変化し市場が縮小する一方、健全なニーズは存在

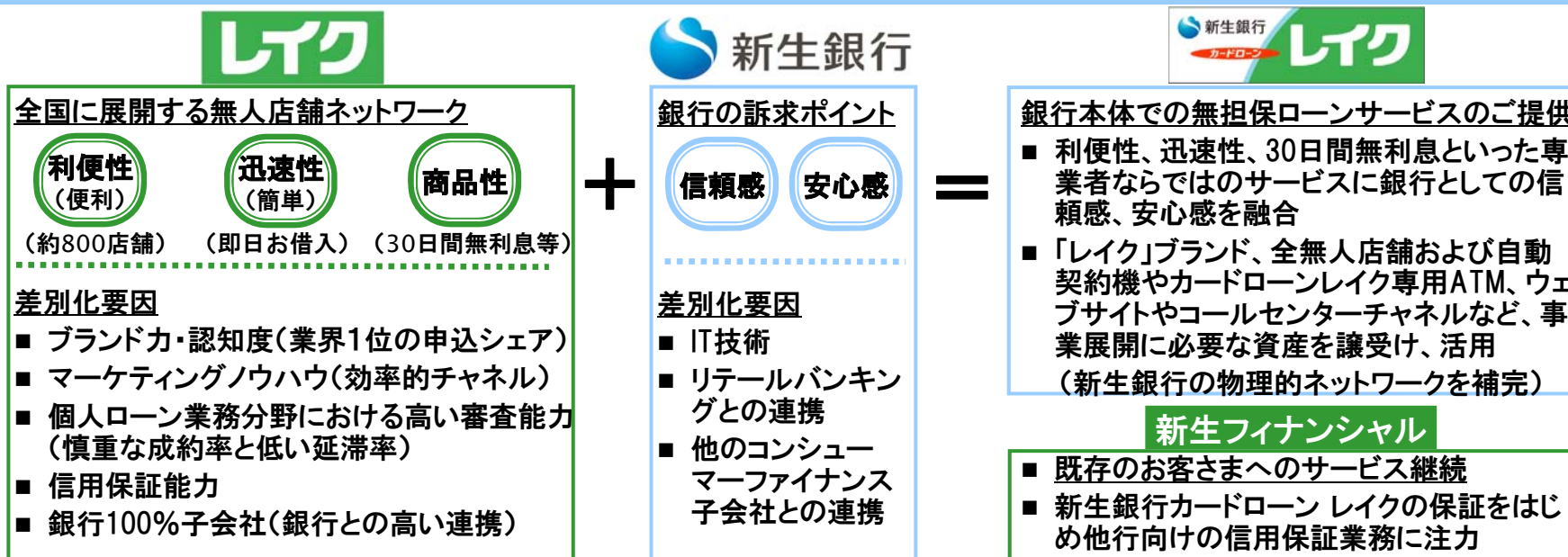
国内個人向け無担保ローン市場の大転換

- 改正貸金業法の完全施行
- 過払い利息返還問題
- 市場規模の大幅な縮小
- 貸し手の市場からの撤退



- 透明性改善への期待
- より高い信頼性向上への期待
- 健全な個人向け小口金融ニーズへの円滑かつ機動的な対応

戦略： 銀行本体での「레이크」ブランドによるカードローンサービスの開始



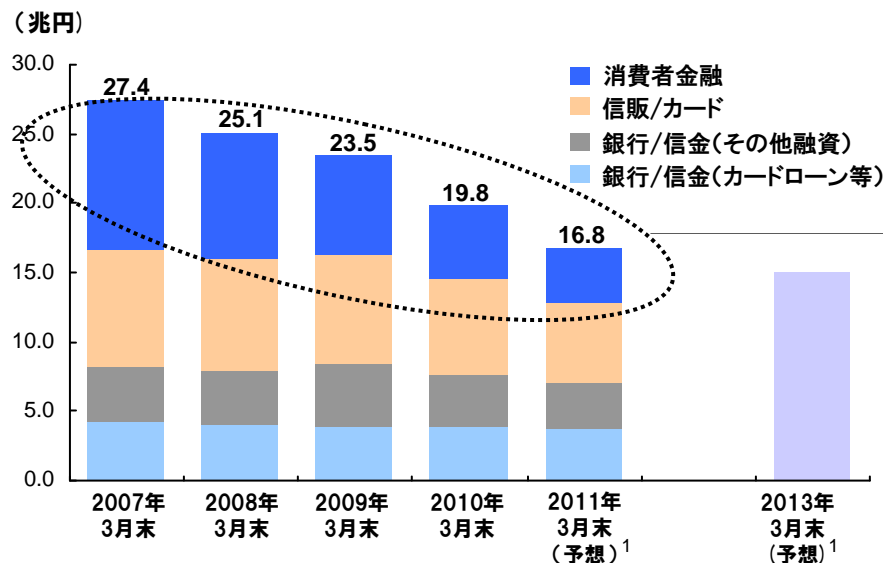
幅広いお客さまを対象とした個人向け無担保ローン市場の健全な市場の形成に貢献

「新生銀行カードローン レイク」の事業環境

銀行への借入ニーズの高まりにより、個人向け無担保ローン市場は中長期的に回復

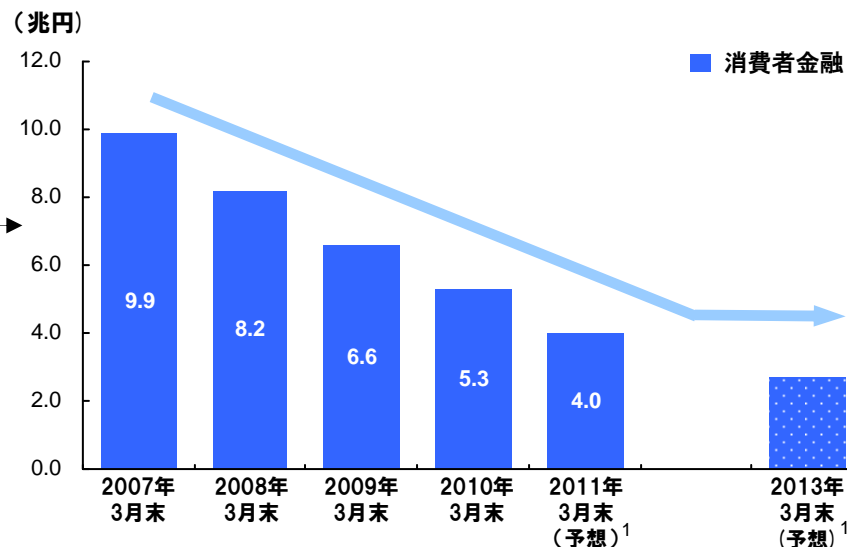


個人向け無担保ローン市場（全体）



¹ 2011年3月末と2013年3月末の市場規模予想は、新生フィナンシャルの予想
(出所)日本銀行統計、日本貸金業協会統計

消費者金融業者による個人向け無担保ローン残高



¹ 2011年3月末と2013年3月末の市場規模予想は、新生フィナンシャルの予想
(出所)日本貸金業協会のデータに基づく金融庁レポート

- 国内の個人向け無担保ローン市場は、貸金業法改正、過払い利息返還問題により大きく減少
- 銀行の融資も、消費の低迷を受け減少はしているものの、消費者金融專業、信販/カード業と比較すると減少は小幅
- 消費者金融專業はさらに低下が続くと推測
- 銀行のカードローンは大手銀行の取組強化により下げ止まる

- 消費者金融專業による、個人向け無担保ローン市場は過去4年間で約6割縮小
- 但し、相応の資金ニーズにより2~3兆円水準の市場は維持される見通し

新生グループとして、個人向け無担保ローン市場に攻勢をかける好機

「新生銀行カードローン レイク」のスキーム

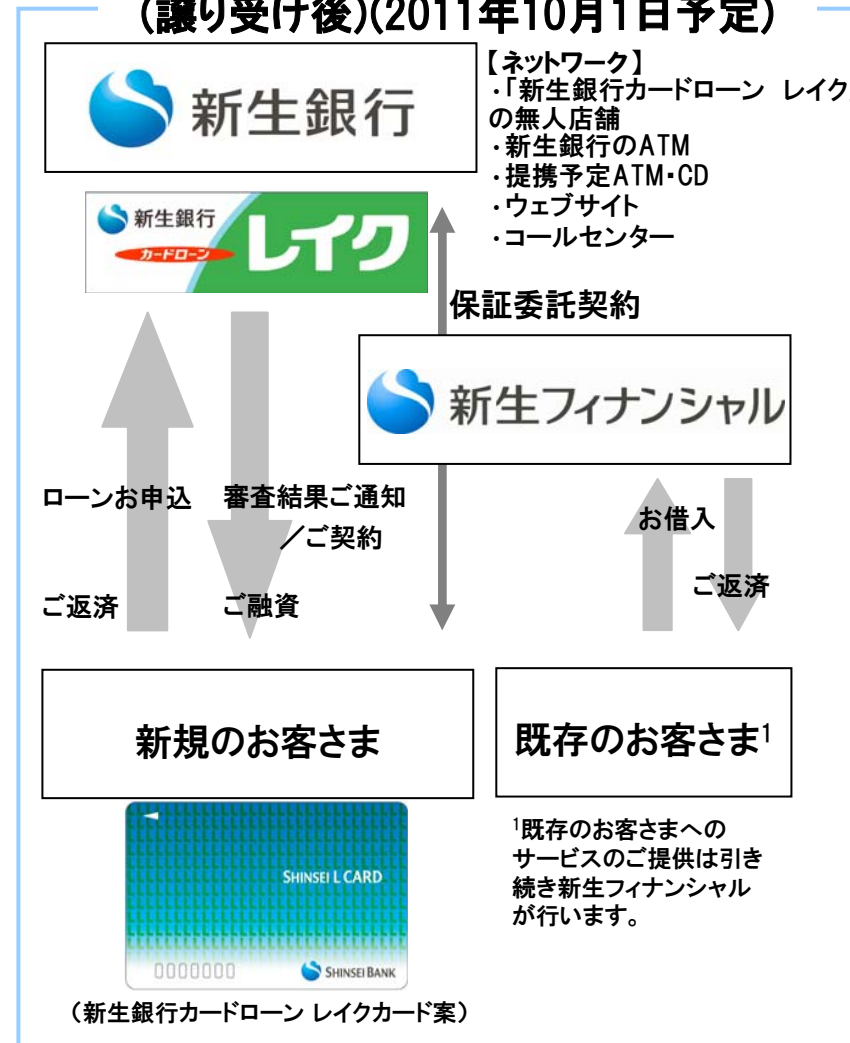
新生フィナンシャルのノウハウを最大限活用した銀行本体での「레이크」ブランドの取り込み



(譲り受け前)



(譲り受け後)(2011年10月1日予定)



新生グループの機能を最大限活用したスキーム

「新生銀行カードローン レイク」の意義

お客さまのニーズに新生銀行グループが総力を挙げて取り組み、個人向け総合金融サービスの新たな展開へ



お客さまにとっての意義

- 「레이크」の高い認知度と、「레이크」ならではの利便性、迅速性はそのまま活かし、さらに銀行の信頼感、安心感を併せ持つことで、より多くのお客さまにご利用いただけるサービスをご提供
- 銀行が大規模の無人店舗ネットワークを展開し、即日のお借入やご来店不要でのお手続などによる無担保カードローンサービスを本格的に実施すること(国内初)により、より身近な存在に
- 既存のお客さまは、引き続き「新生銀行カードローン レイク」の無人店舗やカードローン レイク専用ATM、新生銀行のATMもしくは提携ATM・CDで、これまでと同様にお借入やご返済、ご照会が可能

新生銀行グループとしての意義

- 個人向け総合金融サービスにおける新たな展開への足がかり
 - ✓ 銀行本体にて個人向け無担保ローンに本格的に取り組むことで、新たな個人向け事業領域を創出
 - ✓ リテールバンキングや、他の子会社と連携した、さらに価値ある商品やサービスの取り組み
- 市場における確固たる地位の確立
 - ✓ 子会社からの事業譲渡により、業界トップレベルの実績を築いてきた「레이크」ブランドを活用し、早期に、個人向け無担保ローン市場におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立
- 銀行本体と新生フィナンシャルの固有の強みを活かした収益力の強化
 - ✓ 銀行本体においては、貸出残高積み上げにより、持続的な収益力を強化
 - ✓ 新生フィナンシャルにおいては、既存のお客さまへのサービスの継続と、「新生銀行カードローン レイク」および他行向けの信用保証業務の拡大により今後とも安定的な収益を上げ、さらなる成長を図る

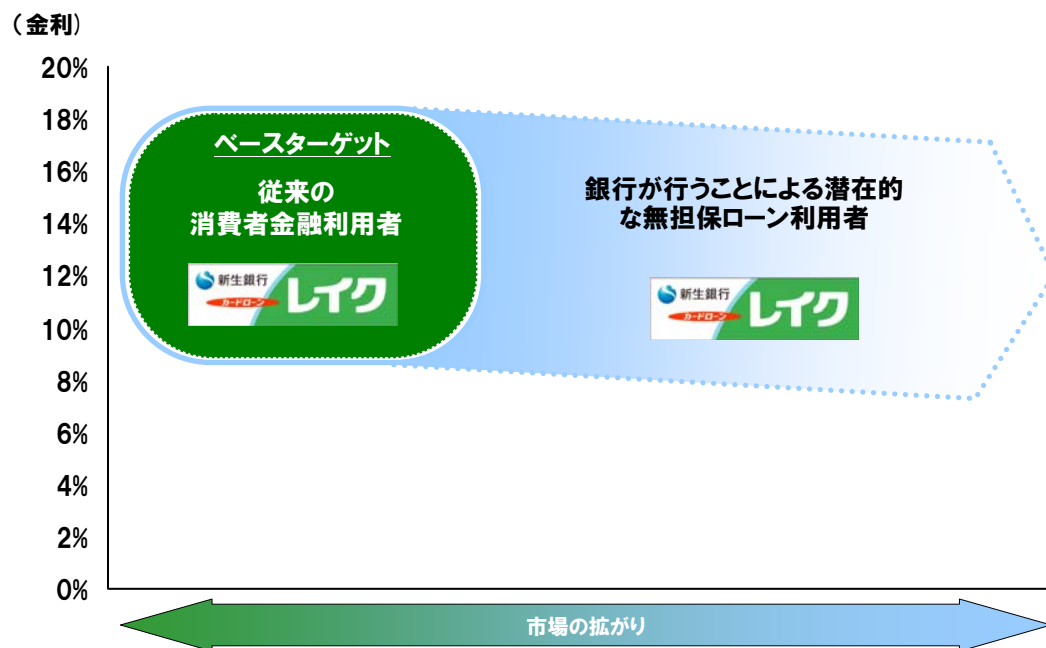
お客さまに支持され、真に信頼のおける個人向け無担保ローンの提供者に

「新生銀行カードローン レイク」の差別化と事業展開

銀行本体で無人店舗ネットワークを活用し、新たな市場を創出しつつ拡大



潜在的な市場の拡がり と 当行の中期的な事業展開のイメージ



銀行が大規模の無人店舗ネットワークを活用、将来的にリテールバンキングと協働することで、無担保ローンをご利用頂ける潜在的なお客さまを開拓

信頼感

安心感

従来の消費者金融専門をご利用のお客さま

利便性
(便利)

迅速性
(簡単)

商品性

- ブランドの選択重視点の順位は ① 会社が信頼できる、② 会社が大手である、③ 会社のイメージが良い（新生フィナンシャル調査）
- 信頼感、安心感を訴求できる銀行が行うことで、潜在的な無担保ローン利用者のニーズを捕捉するなど、市場の拡がりに期待
- 銀行が大規模の無人店舗ネットワークを展開し、即日のお借入やご来店不要でのお手続などによる無担保カードローンサービスを本格的に実施するのは、国内初となることから、より身近な存在に
- ネットワークの譲り受けにより、新生銀行のカードローン事業の拠点を大きく拡大することが可能

簡単（迅速性）、便利（利便性）なサービスに、信頼感、安心感を融合し、中長期的に新たな市場を創出

(参考) 「新生銀行カードローン レイク」商品概要(予定)



	概 要
商品名	新生銀行カードローン レイク
お申込方法	WEB(モバイル含む)、電話、自動契約機、郵送 ※新生銀行リテール店舗窓口での受付は行わない
ご利用いただける方	<ul style="list-style-type: none"> • 20歳～65歳以下(更新は70歳まで) • 新生フィナンシャルの保証が受けられる方 • 外国人は永住許可要
資金用途	原則自由(事業性資金除く)
ご利用限度額(極度額)	最大 300万円(1万円単位)
借入利率(年率)	9～18% ※新規契約時、契約日翌日から30日間無利息制度あり
利息計算方法	毎日の最終残高について付利単位1円で1年365日の日割り計算(片端計算)
お借入方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 新生銀行カードローン レイク専用ATM、新生銀行のATM、提携予定ATM・CD ② 電話(音声応答)申込による指定口座への振込 ③ WEB申込による指定口座への振込
ご返済方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 新生銀行カードローン レイク専用ATM、新生銀行のATM、提携予定ATM・CD ② 指定口座からの口座振替(他行可能) ③ 新生銀行指定口座への振込送金 ④ コンビニ収納(延滞時のみ)
ご返済額	直近の貸付(もしくは返済)時の残高を基準に設定
ご返済期日	<ol style="list-style-type: none"> ① お客様の指定日 ② 口座振替は新生銀行指定の日

免責条項

- 本資料に含まれる当行の計画には、当行の財務状況及び将来の業績に関する当行経営者の判断及び現時点の予測について、将来の予測に関する記載が含まれています。こうした記載は当行の現時点における将来事項の予測を反映したものです。かかる将来事項はリスクや不確実性を内包し、また一定の前提に基づくものです。かかるリスクや不確実要素が現実化した場合、あるいは前提事項に誤りがあった場合、当行の業績等は現時点で予測しているものから大きく乖離する可能性があります。こうした潜在的リスクには、当行の有価証券報告書に記載されたリスク情報が含まれます。将来の予測に関する記載に全面的に依拠されることのないようご注意ください。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。当行は、将来の事象などの発生にかかわらず、必ずしも今後の見通しに関する発表を修正するとは限りません。
- 当行以外の金融機関とその子会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料はいかなる有価証券の申込みもしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。